

日 時

平成10年8月21日(金) 13:00~16:50

22日(土) 9:00~12:30

会 場

東レ総合研修センター大講堂(静岡県三島市)

シンポジウム事務局

〒248-8555 神奈川県鎌倉市手広1111

東レ(株)基礎研究所

TEL/FAX 0467-32-9949

実行委員会

代表 鈴木 勉(星薬大・薬理) 遠藤 孝(東レ・基礎研)
亀井淳三(星薬大・医療2研) 長瀬 博(東レ・基礎研)
野崎正勝(生産開発科学研)

世話人代表

長瀬 博(東レ・基礎研)

世話人

植田弘師(長崎大・薬・分子薬理) 鵜飼 良(名城大・薬・薬品作用)
岡 哲雄(東海大・医・薬理) 小栗一太(九州大・薬・衛生)
亀井淳三(星薬大・医療2研) 岸岡史郎(和歌山医大・薬理)
櫻田 忍(東北薬大・機能形態) 佐藤公道*(京都大・薬学)
鈴木 勉(星薬大・薬理) 高橋正克(長崎大・薬・薬物)
中村秀雄(大日本製薬) 野崎正勝(生産開発科学研)
吉川正明(京都大・食糧科学研) * : 研究会事務局

第19回鎮痛薬・オピオイドペプチドシンポジウムプログラム

8月21日(金)

13:05-13:10

世話人代表挨拶

長瀬 博(東レ・基礎研)

主題1：疼痛治療と麻薬の現状

座長 岡 哲雄(東海大・医・薬理)

小川節郎(駿河台日本大学病院・麻酔科)

13:10-13:30

オピオイドペプチドの *in vivo* での効果に及ぼすペプチダーゼ阻害剤の影響

○岡 哲雄, 北村 憲, 金井昌之, 赤堀 仁, 中林 大, 荒井美治, 岩尾佳代子, 吉川正信, 小林広幸(東海大・医・薬理)

13:30-13:50

モルヒネ禁断時の尾側中脳水道周囲灰白質 preproenkephalin mRNA 増加における c-Fos の関与

○福永優子, 井上徳浩, 宮本昌彦, 前田武彦, 岸岡史郎, 山本博之(和歌山県立医大・薬理)

13:50-14:10

慢性疼痛患者におけるドラッグチャレンジテストとその応用

○花岡一雄(東京大・医・麻酔科)

14:10-14:30

麻薬による疼痛治療の現状と問題点

○小川節郎(駿河台日本大学病院・麻酔科)

主題3-1：オピオイド研究の進歩と展望

座長 佐藤公道(京都大・薬・生体機能解析)

野崎正勝(生産開発科学研)

14:30-14:50

クローン化オピオイド受容体発現細胞を用いたオピオイド「依存」現象形成に対する分子薬理的検討

○中川貴之, 南 雅文, 渡辺 豪, 小澤 徹, 佐藤公道(京都大・薬・生体機能解析)

14:50-15:10

Human nociceptin/orphanin FQ 受容体におけるオピオイドリガンドのアゴニストおよびアンタゴニスト活性

○関 貴弘, 南 雅文, 木村千晶, 佐藤公道(京都大・薬・生体機能解析)

15:10-15:30

Nociceptin 脊髄クモ膜下腔内投与による痛覚過敏反応について

○勝山 壮¹, 櫻田 司², 轡 基治¹, 櫻田 忍¹ (¹東北薬大・機能形態,
²第一薬大・生化)

15:30-16:00

休 憩

招待講演— 1

座長 花岡一雄 (東京大・医・麻酔科)

16:00-16:40

Promises and Pitfalls of Peripheral Opiate Analgesia Research

○Prof. Jerry G. Collins (Yale University・Department of Anesthesiology)

17:30-20:00

終了後, 当研修センター内に於いて懇親会を行います

8月22日(土)

主題3-2:オピオイド研究の進歩と展望

座長 鶴飼 良 (名城大・薬・薬品作用)
岸岡史郎 (和歌山県立医大・薬理)

9:00-9:20

ノシセプチン受容体およびタキキニン1遺伝子欠損マウスにおける末梢性発痛機構の解明

○植田弘師¹, 井上 誠¹, 徳山尚吾¹, 吉田 明¹, 竹島 浩², Andreas Zimmer³ (¹長崎大・薬・分子薬理, ²東京大・医・薬理, ³NIMH)

9:20-9:40

オピオイド受容体およびG蛋白質 α サブユニットに対するアンチセンスオリゴデオキシヌクレオチドの効果

○小林広幸, 吉川正信, 北村 憲, 金井昌之, 赤堀一仁, 中林 大, 岩尾佳代子, 岡 哲雄 (東海大・医・薬理)

9:40-10:00

κ 受容体作動薬開発における副作用の留意点-CPP法と薬物弁別法を用いた検討から-

○野村睦子, 鈴木 勉, 三澤美和 (星薬大・薬理)

10:00-10:20

記憶過程に対する内在性 μ -オピオイド受容体作動薬 endomorphins の作用

○鶴飼 良, 渡辺佳子, 林 惠萍, 亀山 勉 (名城大・薬・薬品作用)

主題2:オピオイド創薬の新展開

座長 中村秀雄 (大日本製薬)
櫻田 忍 (東北薬大・機能形態)

10:20-10:40

マトリン型ルピナルカロイドの抗侵害作用

肖 平¹, 久保 元¹, 東山公男¹, ○大宮 茂¹, 大澤匡弘², 亀井淳三², 長瀬 博³, 李家実⁴, 閻 玉凝⁴ (¹星薬大・医薬研, ²星薬大・医療薬学第2, ³東レ・基礎研, ⁴北京中医薬大)

10:40-11:00

東南アジア産薬用植物 *Mitragyna speciosa* に含有される新規鎮痛性インドールアルカロイドの化学的・薬理的展開

○高山廣光 (千葉大・薬・薬用資源教育研)

11:00-11:20

糖尿病マウスにみられる allodynia および hyperalgesia 発症機序

○亀井淳三, 大澤匡弘 (星薬大・医療薬学第2)

11:20-11:40

アロディニアの発現機構

○南 敏明¹, 森 秀磨¹, 伊藤誠二² (¹大阪医大・麻酔科, ²関西医大・医化)

招待講演ー 2

座長 長瀬 博 (東レ・基礎研)

11:40-12:20

Opioid Peptide Analogues as a Potentially New Generation of Analgesics

○Prof. Andrzej W. Lipkowski (Polish Academy of Sciences・Medical Research Center)

12:20-12:30

International Narcotic Research Conference (INRC) 報告

鈴木 勉 (星薬大・薬理)

12:30-12:35

次期世話人代表挨拶